

●学校法人α Version 4.904

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 部門配賦処理に対応しました。

- 部門登録で、共通部門（配賦元部門）は「明細」部門として登録し、配賦仕訳はその「明細」部門に入力します。
- 法人全体の配賦元部門は総額の直下に設定します。
- 配賦設定の科目指定は、事業活動収支科目に対して設定します。
- 貸借科目に対しての配賦設定はありません。
- 1つの科目で複数の配賦種別が必要な場合は、科目拡張して、各々の科目に別々の配賦種別を設定してください。

◆ 名称等転送

- 「仕訳対応摘要」のチェックボックスを追加しました。
「科目関係（名称・科目設定・分析登録内の設定）」及び「摘要辞書」のいずれにもチェックがある場合に、「仕訳対応摘要」のチェックボックスが有効になります。
「科目対応摘要」と同様、上書き転送となります。

◆ 科目設定・残高登録

- 摘要辞書登録
 - ・「三菱UFJ銀行」の行名変更に伴い、摘要辞書の金融機関関係の初期名称を変更しました。新規作成時に適用されます。既存マスターは変更されません。
 - ※併せて他の金融機関名も見直しを行いました。

◆ 通信・移動

- マスター&データ抽出
 - ・未設定科目エラーが発生した時に、どの科目が原因なのかをリスト表示するようにしました。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“学校法人db (VERSION:4.904) の変更点”を参照してください。

学校法人 d b (VERSION:4.904) の変更点

部門配賦処理について

◎ 学校法人 d b 部門配賦処理について

- ・ 部門登録で、共通部門（配賦元部門）は「明細」部門として登録し、配賦仕訳はその「明細」部門に入力します。
- ・ 法人全体の配賦元部門は総額の直下に設定します。
- ・ 配賦設定の科目指定は、事業活動収支科目に対して設定します。
- ・ **貸借科目に対しての配賦設定はありません。**
- ・ 1つの科目で複数の配賦種別が必要な場合は、科目拡張して、各々の科目に別々の配賦種別を設定してください。
- ・ 資産の売却・取得や借入金の収入・返済など、貸借科目同士となる仕訳については、配賦処理ではなく、各部門に直接計上するように入力してください。
* 仕訳例：『（借方）現 金 / （貸方）短期借入金』
配賦仕訳として上記のような仕訳を入力した場合、貸借対照表では全て共通部門に計上されます。
また、資金収支計算書においても、全て共通部門に「短期借入金収入」として計上されます。
- ・ 段階ごとに異なる配賦種別を使用する場合は、配賦設定画面で「個別指定」で対応してください。（「法人と大学のみを使用面積で配分する」「大学・短大のみ在学者数で配分する」など。）

◎ 配賦集計について

- ・ 事業活動収支計算書への配賦は、配賦設定の科目指定に則って、事業活動収支科目に配賦します。
- ・ 資金収支計算書への配賦は、事業活動収支科目の配賦金額を「収支集計対応科目設定」に則って、資金収支科目に配賦します。
- ・ 活動区分資金収支計算書は、資金収支計算書への配賦を加味して出力します。
- ・ 貸借対照表への配賦は、配賦対象となる事業活動収支科目の仕訳から、相手科目である貸借科目に配賦します。
- ・ 配賦対象となる仕訳で相手科目が「諸口」のときは、貸借対照表上に計上する科目を特定できないため、部門設定オプションの「配賦科目設定」に指定した貸借科目に配賦します。
また、学校 d b では貸借対照表に配賦された「配賦科目設定」科目の金額のうち、「諸口.0001」を使った仕訳の金額を「資金収支計算書」に計上します。

* 仕訳例：『（借方）借入金利息 / （貸方）諸口.0001』
（「配賦科目設定」が初期設定 = [借方：流動資産 1 / 貸方：流動負債 1] の場合）

事業活動収支計算書 … 「借入金利息」に配賦します。

貸借対照表 … 「流動負債 1」に配賦します。

資金収支計算書 … 「借入金利息支出」及び「流動負債収入 1」に計上します。

※ 「配賦科目設定」による配賦では、貸借対照表及び資金収支計算書での表示が複雑になるため、配賦対象となる仕訳についてはできるだけ「諸口」（諸口.0001）を使わずに単一仕訳として入力してください。

部門配賦対応業務

I. 導入・更新

1) 翌期更新／前年度からの更新

- ・部門配賦残高の更新に対応しました。
- ・更新後、残高登録の開始残高や予算登録の予算・予備費（資金）→F9 他予算「前年度繰越支払資金」の金額には、**前年度の配賦金額は含まれていません。**
配賦金額は内部で保管しており、帳表出力時に反映します。

II. 登録・入力

1) 部門設定

- ・配賦設定に対応しました。

①部門登録

- ・部門登録で、共通部門（配賦元部門）は「明細」部門として登録します。
- ・法人全体の配賦元部門は総額の直下に設定します。

部門	部門名称	タイプ	合・明
1	共通部門	特約	明
2	〇〇大学	特約	合
21	国際教養学部	特約	合
22	国際経済学部	特約	合
23	音楽芸術学部	特約	合
20	大学共通部門	特約	合
3	〇〇短期大学	特約	合
31	看護学課	特約	合
32	教育学課	特約	合
30	短期大学共通部門	特約	合
4	〇〇高校	特約	合
41	普通課	特約	合
42	スポーツ課	特約	合
43	芸術専課	特約	合
40	高校共通部門	特約	合
5	法人事務局	特約	明

- ・登録済みの部門を削除するときに、配賦設定を行っている場合は下記のメッセージを表示します。

【 3】〇部門

配賦設定で、配賦構造に登録されています。
削除すると配賦構造が変わるため、帳票出力時の配賦額に影響が生じる可能性があります。
削除してもよろしいですか？

はい(Y) いいえ(N)

②配賦設定／配賦構造

【配賦構造】 パターン1

- 1: 共通部門
 - 20: 大学共通部門
 - 30: 短期大学共通部門
 - 40: 高校共通部門
 - 5: 法人事務局

【部門選択】

- 総額
 - 1: 共通部門
 - 2: 〇〇大学
 - 21: 国際教養学部
 - 22: 国際経済学部
 - 23: 音楽芸術学部
 - 20: 大学共通部門
 - 3: 〇〇短期大学
 - 31: 看護学課
 - 32: 教育学課
 - 30: 短期大学共通部門
 - 4: 〇〇高校
 - 41: 普通課
 - 42: スポーツ課
 - 43: 芸術専課
 - 40: 高校共通部門
 - 5: 法人事務局

共明(F6) 削除(Del) OK キャンセル

③配賦設定／共通指定

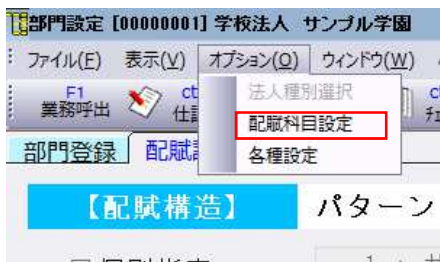
部門	共通割合
1: 共通部門	20.00
20: 大学共通部門	10.00
30: 短期大学共通部門	20.00
40: 高校共通部門	30.00

④配賦設定／科目指定

- ・事業活動収支科目に対して設定します。（貸借科目に対しての配賦設定はありません。）

⑤オプション／配賦科目設定

- ・配賦対象となる仕訳で相手科目が「諸口」のときは、貸借対照表上に計上する科目を特定できないため、「配賦科目設定」に指定した貸借科目に配賦します。

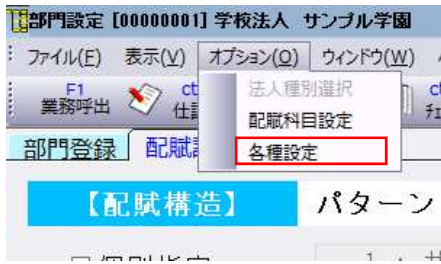


番号	借方科目	貸方科目
1	流動 資産 1	流動 負債 1

配賦対象となる費用および収益の仕訳について、異なる会計区分間で振り替えるときや相手科目が諸口のときに、貸借対照表へ計上する科目を設定します。

⑥オプション／各種設定

- ・配賦設定／詳細割合画面の項目名の切り替えを行います。



* 部門名称を選択した場合

詳細割合						
1 : 共通部門		面積比率				
月	合計	大学共通部門	短期大学共通部門	高校共通部門	法人事務局	
4月	100.00	36.00	22.00	30.00	12.00	
5月	100.00	36.00	22.00	30.00	12.00	
6月	100.00	36.00	22.00	30.00	12.00	
7月	100.00	36.00	22.00	30.00	12.00	
8月	100.00	36.00	22.00	30.00	12.00	
9月	100.00	36.00	22.00	30.00	12.00	
10月	100.00	36.00	22.00	30.00	12.00	
11月	100.00	36.00	22.00	30.00	12.00	
12月	100.00	36.00	22.00	30.00	12.00	
1月	100.00	36.00	22.00	30.00	12.00	
2月	100.00	36.00	22.00	30.00	12.00	

Ⅲ. 出力

1) 試算表

- ・部門配賦集計の出力に対応しました。



IV. 決算

1) 決算書

- ・部門配賦集計の出力に対応しました。

部門 出力パターン1 詳細 配賦する

出力帳表の選択

出力範囲 標準出力 全表選択/解除

表紙 貸借対照表

資金収支計算書 計算書類の注記事項

活動区分資金収支計算書 人件費支出明細表

事業活動収支計算書

用紙サイズ A 4縦

出力期間の指定

出力月 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決
29年04月01日 ~ 30年03月31日 決

2) 財産目録

- ・部門配賦集計の出力に対応しました。

部門 出力パターン1 詳細 配賦する

[0001] 共通部門

番号	科目名称	財産目録摘要名称
001	【土地】	
002	土地	
003	【建物】	
004	建物	

3) 内訳表

- ・部門配賦集計の出力に対応しました。

法人別 部門別

部門 出力パターン1 (部門別) 詳細 配賦する

出力帳表の選択

出力範囲 標準出力 全表選択/解除

資金収支内訳表 事業活動収支内訳表

人件費支出内訳表

用紙サイズ A 4縦

出力期間の指定

出力月 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決
29年04月01日 ~ 30年03月31日 決

各月出力する

累計/発生 累計

4) 予算書/予算内訳表

- ・予算の部門配賦には対応していません。（当業務では「配賦する・しない」の選択はありません。）
 - ・F6 項目登録の資金収支予算書タブに「[]前年度繰越支払資金（予算）に配賦額を加算する」の選択を設けました。（配賦設定がされていないマスターでは、当選択は表示されません。）
- 学校 d b では、翌期更新後の『資金収支計算書』の「前年度繰越支払資金」の予算欄の金額には、資金の開始残高が入ります。
- 決算書や内訳表などを「配賦する」として処理した場合には、予算書や予算内訳表でもその金額に前年度の配賦金額分を加味しないとイケないため、当選択を設けました。

決算書や内訳表は「配賦する⇔配賦しない」の選択により、「前年度繰越支払資金」の予算欄の集計も変わります。

項目登録

共通 資金収支予算書 事業活動収支予算書 表紙 脚注

支出の部で改ページする

出力形式選択 三列（当年／前年予算額、増減） 当年予算を当初予算で出力する

項目名称

	①	②	③	④
標準名称	当年度予算額	前年度予算額	増減	
出力名称	当年度予算額	前年度予算額	増減	

※「出力名称」欄にて名称を変更できます 標準に戻す

増減(差異)の金額を出力する

差額計算式 ▼

前年度繰越支払資金（予算）に配賦額を加算する

※《補足》残高（予算）のない部門の出力について

『決算書』

- ・「配賦する」で出力した場合、全額配賦されて残高がなくなった共通部門は無条件に出力しません。
 - ・「配賦しない」で出力した場合、共通部門も通常部門（配賦先部門）と同じ扱いです。
- 残高がない部門の出力は「発生が無い大科目を出力しない」で選択してください。

『内訳表』

- ・「配賦する」で出力した場合、全額配賦されて残高がなくなった共通部門は無条件に出力しません。
- ・「配賦しない」で出力した場合、残高がない部門の出力は「残高が0の列を出力しない」で選択してください。

『予算書』

- ・予算の配賦は対応していないため、配賦の選択はありません。
- ・予算の登録がない共通部門は無条件に出力しません。
- ・予算の登録がない通常部門の出力は「発生が無い大科目を出力しない」で選択してください。

『予算内訳表』

- ・予算の配賦は対応していないため、配賦の選択はありません。
- ・予算の登録がない部門の出力は「残高が0の列を出力しない」で選択してください。

『試算表』

- ・「配賦する」で出力した場合も、借方・貸方の動きがあるので、残高がなくなった共通部門も出力されます。（自動・定型とも）

その他改良・修正

I. 導入・更新

1) 残高合併

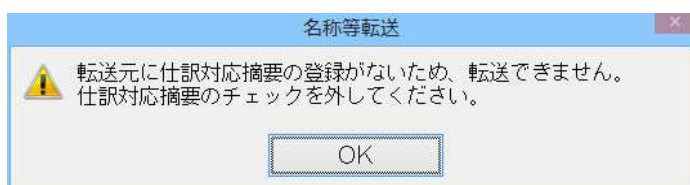
- ・合併マスターに対し、合併対象マスター側で拡張科目あり、拡張科目なしのマスターを混在して合併を行うと、動作停止する場合があったのを修正しました。

2) 名称等転送

- ・「仕訳対応摘要」のチェックボックスを追加しました。
「科目関係（名称・科目設定・分析登録内の設定）」及び「摘要辞書」のいずれにもチェックがある場合に、「仕訳対応摘要」のチェックボックスが有効になります。
「科目対応摘要」と同様、上書き転送となります。

The screenshot shows a transfer settings interface with two columns for '転送元選択' (Transfer Source) and '転送先選択' (Transfer Destination). The transfer source is 'みほんアイシーエム株式会社' and the transfer destination is 'てすと'. Both have a fiscal year of 29. The transfer source table shows 352科目名称数, 406合計名称数, 299摘要登録数, 223科目対応摘要登録数, and 0仕訳対応摘要登録数. The transfer destination table shows 352科目名称数, 406合計名称数, 298摘要登録数, 223科目対応摘要登録数, and 0仕訳対応摘要登録数. Below the tables are checkboxes for '科目コードのみ', '科目関係（名称・科目設定・分析登録内の設定）', '摘要辞書', '科目対応摘要', '合計・明細の選択', and '出力詳細のみ'. The '科目関係' and '摘要辞書' checkboxes are checked, and a red arrow points from them to the newly added '仕訳対応摘要' checkbox, which is also checked. A '転送' button is at the bottom right.

転送元の仕訳対応摘要登録数が0件の場合、メッセージを出して処理を中止します。



- ・「対応摘要ページ」を『科目対応摘要登録数』という表現に変更しました。
- ・転送元の科目対応摘要登録数が0件の場合、仕訳対応摘要と同様に処理を中止するようにしました。
- ・「摘要辞書」で「同一コードで名称が異なる場合は転送元名称を別コードで追加する」を選択し、かつ「科目対応摘要」にチェックを付けている状態で転送処理を行った場合、科目対応摘要へは、転送先に別コードで登録している摘要名称に、転送元で元々持っていた摘要コードをセットしていたため、転送先に登録している摘要コードで追加されるように修正しました。

例) 転送元

294番の「三菱東京UFJ」を「三菱UFJ」に変更して、科目対応摘要のページ1に「294」を登録

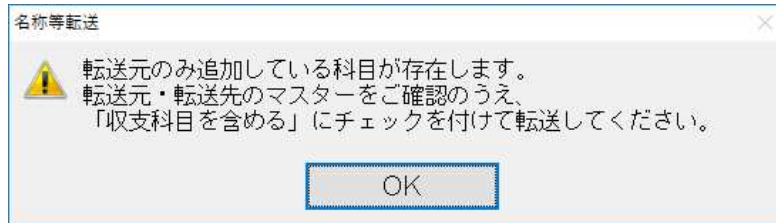
転送先

改良前 摘要辞書の299番に「三菱UFJ」を追加し、科目対応摘要のページ1は「294」のままになっていました。

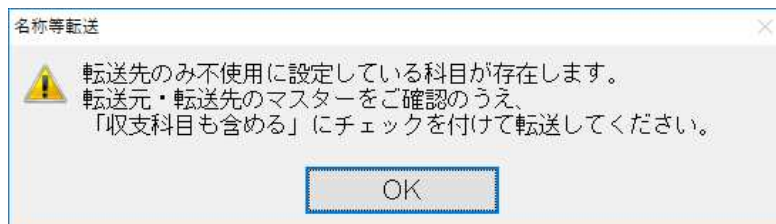
改良後 摘要辞書の299番に「三菱UFJ」を追加し、科目対応摘要のページ1も「299」になります。

- ・非営利法人において、転送元、転送先マスター間の科目の拡張状態や使用不使用のサインが異なる場合、「科目関係（名称・科目設定）」及び「収支科目も含める」の両方にチェックが付いていないと転送できないように変更しました。
「収支科目も含める」のチェックを付けずに転送しようとした場合、メッセージを出し転送を中止します。

転送元で拡張された科目が転送先がない場合



同一科目で転送元が使用、転送先が不使用になっている場合



- ・「科目関係（名称・科目設定）」のチェックを付けたとき、「収支科目も含める」のチェックは常に ON になります。
- ・ある科目が転送先でのみ拡張されている場合や転送元でのみ不使用になっている場合は、従来どおりのメッセージを表示し転送を中止します。
- ・転送元、転送先マスター間で、科目の拡張や使用サインの相違がない場合は、従来どおり、「収支科目も含める」のチェックが OFF でも転送可能です。

II. 登録・入力

1) 残高問い合わせ

- ・下記条件に該当する場合、F11 発生残高の小計に、期中に仕訳発生のない枝番の残高が含まれていなかったのを修正しました。

(条件)

- 1.枝番の期中の仕訳発生がない（期首・期末には残高がある）
- 2.F6 条件設定で「残高・発生の無い枝番を出力する」はチェックなし
- 3.過年度マスターが付いている。

- ・推移損益で枝番出力した際に、2 ページ目に枝番表示がされない場合があったのを修正しました。

2) 科目設定・残高登録

① 摘要辞書登録

- ・「三菱UFJ銀行」の行名変更に伴い、摘要辞書の金融機関関係の初期名称を変更しました。新規作成時に適用されます。既存マスターは変更されません。

※併せて他の金融機関名も見直しを行いました。

番号	変更後	カナ	変更前
281	損保ジャパン日本興亜	ソボ	損保ジャパン
286	SMB C日興証券	スィム	日興コーディアル証券
288	三菱UFJモルガンスタンレー証券	ミヅ	三菱UFJ証券
294	三菱UFJ銀行	ミヅ	三菱東京UFJ銀行
297	イオン銀行	イオン	シティバンク (解散により削除)

3) 資金科目・予算・予備費関係登録

- ・当業務を起動した状態で科目設定・残高登録に移り、科目を削除して終了後、当業務に戻り削除した科目に対して入力等を行うと不具合が発生していたのを修正しました。

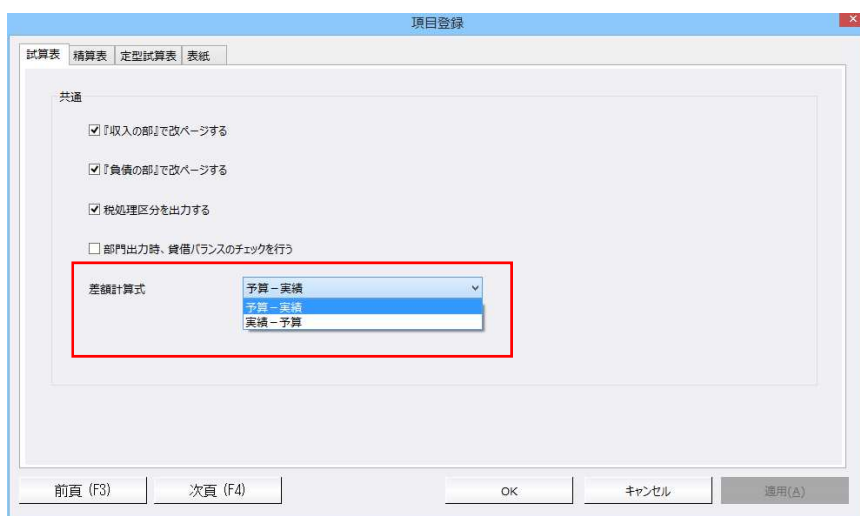
4) 収支集計対応科目登録

- ・当業務を起動した状態で科目設定・残高登録に移り、科目を削除して終了後、当業務に戻り削除した科目に対して入力等を行うと不具合が発生していたのを修正しました。

Ⅲ. 出力

1) 試算表

- ・試算表の「予算残高」を『実績－予算』でも出力できるように対応しました。
[F6 項目登録] の試算表/定型試算表に、差額計算式（予算－実績/実績－予算）の選択を設けました。



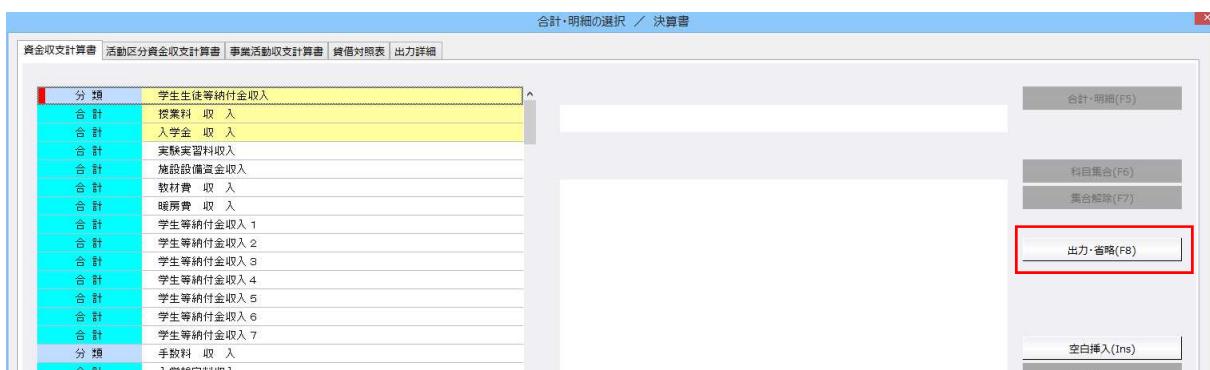
2) 消費税額試算表・集計表・課税売上割合

- ・個別対応方式の一括税抜マスターで、消費税額試算表の [F6 詳細設定] で「課税取引期間計より消費税額を算出する(総額)」と「枝番表示を行う」の両方にチェックが入っている場合、損益計算書、課税取引、消費税額等の金額がおよそ倍額で表示されていたのを修正しました

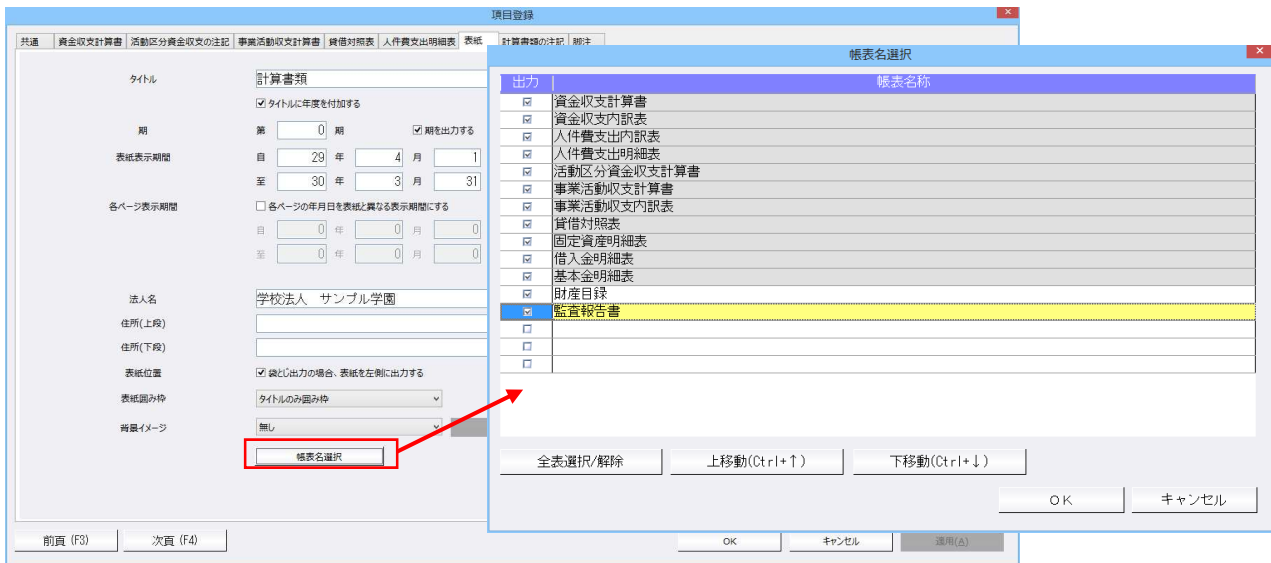
Ⅳ. 決算

1) 決算書/内訳表/予算書/予算内訳表

- ・事業活動収支計算書で、[F7 合計・明細] で分類項目の「省略」に対応しました。



- ・ [F6 項目登録] の表紙タブ「帳表名選択」で、表紙に帳表名を追加、名称変更できるように対応しました。 … 決算書／予算書



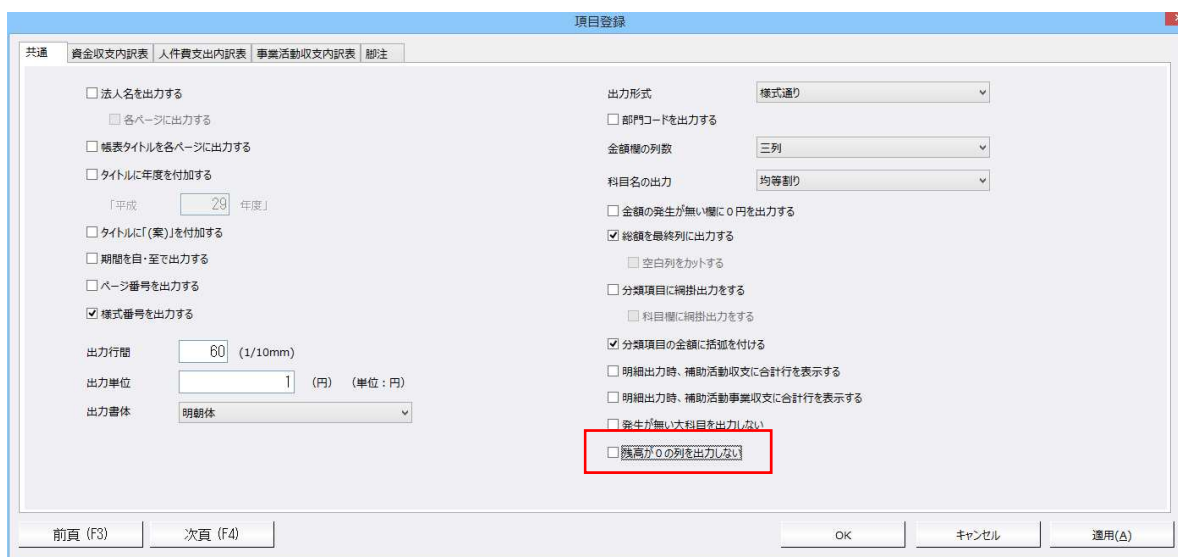
【出力】 … 表紙に出力する帳表名にチェックを付けます。（【全表選択/解除】もできます。）

【帳表名称】 … 帳表名の変更、追加をします。

- * 決算書表紙のうち、資金収支計算書／資金収支内訳表／人件費支出内訳表／人件費支出明細表／活動区分資金収支計算書／事業活動収支計算書／事業活動収支内訳表／貸借対照表の帳表名は、『科目設定・残高登録』の「出力用特殊名称」で変更します。
- * 固定資産明細表／借入金明細表／基本金明細表の帳表名は、『附属明細書』の[F6]項目登録の各タブ「帳表タイトル」で変更します。（後述『附属明細書』参照）
- * 予算書表紙のうち、資金収支予算書／資金収支予算内訳表／人件費支出予算内訳表／人件費支出予算明細表／事業活動収支予算書／事業活動収支予算内訳表の帳表名も、『科目設定・残高登録』の「出力用特殊名称」で変更します。
- * 下部の空白の5行には、表紙に追加する帳表名を登録します。
- * 出力用特殊名称や附属明細書から連動する名称は、間にスペースが入っていても、帳表名選択ダイアログではスペースをカットして表示します。
帳表名選択ダイアログで直接登録する名称には、スペースを入力できないようにしています。
表紙に出力時、名称は均等割り付けして出力されます。

【上移動(Ctrl+↑)】 【下移動(Ctrl+↓)】 … 表示する順番を変更できます。

- ・ [F6 項目登録] の共通タブに「残高が0の列を出力しない」を追加しました。
… 内訳表／予算内訳表



※《補足》残高（予算）のない部門の出力について

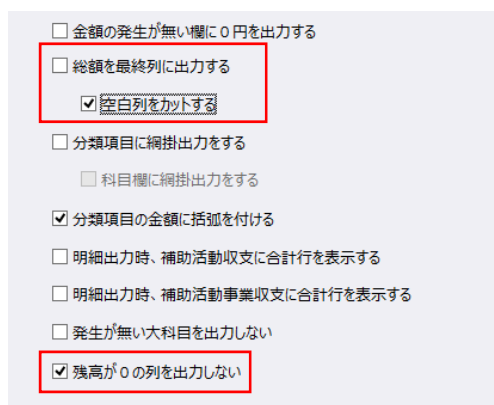
『内訳表』

- ・「配賦する」で出力した場合、全額配賦されて残高がなくなった共通部門は無条件に出力しません。
- ・「配賦しない」で出力した場合、残高がない部門の出力は「残高が0の列を出力しない」にチェックしてください。

『予算内訳表』

- ・予算の配賦は対応していないため、配賦の選択はありません。
- ・予算の登録がない部門の出力は「残高が0の列を出力しない」にチェックしてください。

※「残高が0の列を出力しない」を選択した場合、総合計を出力するページに空白の列が出力される場合があります。下記のように空白列をカットするにチェックを付けてください。



- ・事業活動収支**書で、「基本金取崩額」は金額の発生がないと出力されていなかったため、[F6 項目登録]の「発生が無い大科目を出力しない」にチェックがない場合は、出力されるように修正しました。…決算書／内訳表／予算書／予算内訳表
- ・[F6 項目登録]の共通タブの「分類項目の金額に括弧を付ける」の保存が、業務毎となっていたのを共通となるように対応しました。
- ・表紙の出力で、[F6 項目登録]の「表紙囲み枠」を「全体に囲み枠」と設定した場合、[F3 Excel 出力]が正常に行われなかったのを修正しました。
- ・人件費支出の帳表で、[F6 項目登録]の帳表の形式（行詰めする⇔行詰めしない）を、共通で切り替わるように対応しました。
- ・内訳表グループ登録に登録している会社を削除して出力を行うと「データベース接続できません。このログインで要求されたデータベース "Z58_CXXXXXXXX_YXXXX" を開けません。ログインに失敗しました。」のエラーが表示され出力できなかったのを修正しました。内訳表／予算内訳表
- ・予算書で、[F6 項目登録]の表紙タブに「法人番号」が表示されていたのを修正しました。

2) 附属明細書

- ・ [F6 項目登録] の固定資産明細表／借入金明細表／基本金明細表タブの「帳表タイトル」で、帳表名を変更できるように対応しました。
- ※固定資産明細表／借入金明細表／基本金明細表の「帳表タイトル」及び「決算書表紙」に反映します。

The screenshot shows the 'Item Registration' dialog box with the 'Fixed Asset Statement' tab selected. The 'Account Name Output' dropdown is set to 'Average'. The 'Table Title' field is highlighted in yellow and contains the text '固定資産明細表'.

The screenshot shows the 'Item Registration' dialog box with the 'Loan Statement' tab selected. The 'Return Period Input' dropdown is set to 'Year/Month'. The 'Table Title' field is highlighted in yellow and contains the text '借入金明細表'.

The screenshot shows the 'Item Registration' dialog box with the 'Basic Fund Statement' tab selected. The 'Table Form' dropdown is set to 'Execute'. The 'Table Title' field is highlighted in yellow and contains the text '基本金明細表'.

V. 通信・移動

1) マスター&データ抽出

- ・ 未設定科目エラーが発生した時に、原因科目をリスト表示するようにしました。

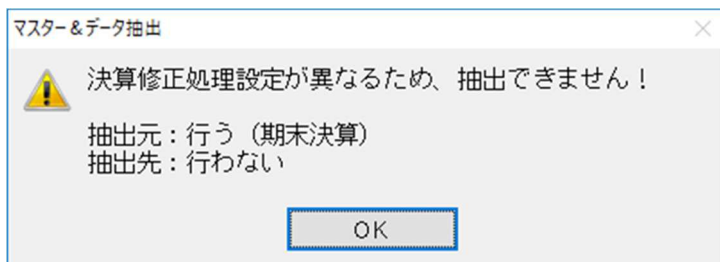
The screenshot shows an error message dialog box titled 'エラー内容'. The message reads: '以下の科目が原因で、処理を継続できません。エラー内容を確認してください。' Below the message is a table with the following data:

科目名称	科目コード	エラー内容
当座 預金 11	0178	科目名称不一致
普通 預金 10	0130	不使用科目

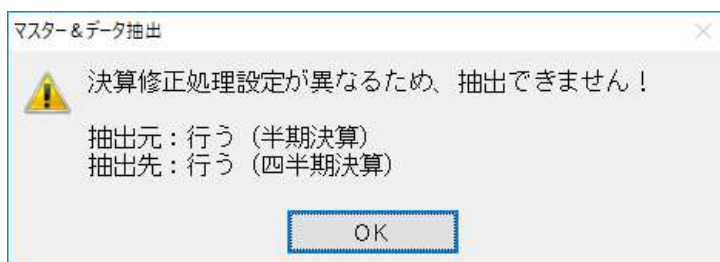
An 'OK' button is located at the bottom of the dialog box.

- ・ マスター入替時、決算修正処理設定が異なる場合に表示するエラーメッセージの内容を変更しました。送信元、送信先の決算修正処理設定の情報をメッセージ内に表示するようにしています。

(例) 抽出元／決算修正処理：行う（期末決算） 抽出先／決算修正処理：行わない場合。



(例) 抽出元／決算修正処理：行う（半期決算） 抽出先／決算修正処理：行う（四半期決算）の場合。



- ・ 受信一覧に給与データが表示されていたのを修正しました。

以上